



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関係する資料をお知りになりたい場合は、研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この研究では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータの利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡下さい。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-5550-2608

担当者の所属・氏名

QI センター 医療安全管理室 大島久美

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 QI センター 医療安全管理室 大島久美

# インシデント報告に関する研究

## 「インシデント報告による組織のリスク評価」

### 1. 研究の対象

2016年4月1日から2021年3月31日までに聖路加国際病院で発生したインシデントで、聖路加国際病院のインシデント報告・状況報告書に入力されたインシデント報告を対象とします。

### 2. 研究の目的・方法

名古屋大学附属病院 医療の質・安全管理部が作成したインシデント報告に含まれる言葉をスコア化するリスクスコア算出プログラムを用いて、当院の医療安全におけるリスクスコアを算出し、他院との比較、部署間の比較を行います。数値化したデータを用いて、医療安全における組織のリスク評価と当院における医療安全対策の効果を検討します。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年3月31日までの予定です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータはインシデント報告・状況報告書です。

インシデント報告には、その事象の発生日、患者氏名、患者ID、診療科、主治医名、報告者名、所属部署、事象の種類、患者影響レベル、自由記載、チャートレビューとヒアリングの結果を記載した経緯・要因・まとめ、今後の対策が含まれます。

リスクスコア算出プログラムを用いて算出したデータには個人情報はありません。

### 4. 外部への試料・情報の提供

外部への資料提供は行いません。

組織間の比較は、他施設の数値データを名古屋大学から供出していただいております。

### 5. 研究組織

当院のみで行いますが、名古屋大学の協力により、名古屋大学附属病院 医療の質・安全管理部が開発したインシデント報告のリスクスコアを計算するプログラムと同プログラムにより算出された他施設のデータを用います。

名古屋大学附属病院 医療の質・安全管理部  
教授 長尾 能雅